

泉屋博古館東京特別展「オタケ・インパクト」によせて

はじめまして 尾竹三兄弟～越堂・竹坡・国観の日本画



尾竹越堂《役者見立 壇浦兜軍記す・阿古屋琴セメの段》1891年 富山市売薬資料館

●講師 泉屋博古館東京主任学芸員 椎野晃史

【講師プロフィール】

椎野 晃史(シイノ アキフミ)

神奈川県生まれ。2012年、学習院大学大学院人文科学研究科修了。福井県立美術館勤務を経て、2020年より現職。専門は近現代日本美術史。主な研究に「芳崖四天王コトハジメ」(『狩野芳崖と四天王 近代日本画、もうひとつの水脈』求龍堂、2017年9月)、「近代白描画をめぐる断章」『大和文華』(135号、大和文華館、2019年8月)、「安田靉彦筆《風雷神神図》考—昭和戦前期における日本美術院の絵画表現について」(『近代画説』第30号、明治美術学会、2021年12月)など。

新潟県に生まれた尾竹越堂(おたけ・えつどう1868～1931)、竹坡(ちくは1878～1936)、国観(こっかん1880～1945)の三兄弟は、明治から昭和にかけて文部省美術展覧会をはじめとした様々な展覧会で成功を収め、まさに「展覧会の申し子」として活躍しました。しかしながら、竹坡を筆頭に実験的ともいえる表現を試み、また時にエキセントリックな生き方を貫いた三兄弟は批判にさらされ、日本美術史からこぼれ落ちていきました。

光と影の中で、新しい日本画の可能性を示した彼らの革新的で魅力にあふれる作品は、今の私たちの眼には新鮮に映るはずです。彼らの代表作をはじめ、たくさんの新出作品や未公開資料から、知られざる尾竹三兄弟の人と作品を紹介します。

☆併せて、泉屋博古館東京で開催中の特別展「オタケ・インパクト 越堂・竹坡・国観、尾竹三兄弟の日本画アナキズム」の見どころも解説します。

日時 令和6年10月31日(木)
14:00～15:30

受講料 3,500円

お申し込み方法 052-684-5894(tel, fax)

- ご予約のうえ、下記口座にお振込み下さい。
- 三菱UFJ銀行 栄町支店 普通預金口座
- 0160603 名義:ソウキヤソフィ
- または当日ご持参ください。

お申し込み・お問い合わせは



創企舎 ソフィ

460-0007 名古屋市中区新栄2-6-13
Tel/Fax 052-684-5894 (直通090-8474-6363)
Email: soukisha-sophy@gd5.so-net.ne.jp
URL: <http://s-sophy.com>

創企舎ソフィ 検索

会場案内図

IMY (アイエムワイ) ビル会議室

〒461-0004 名古屋市東区葵3-7-14

地下鉄東山線「千種」駅①番出口徒歩2分
地下鉄桜通線「車道」駅③番出口徒歩1分
JR「千種」駅徒歩5分(メルパルク北隣)

